

埼玉親善大使・フィンドレー大学奨学生レポート 11月
インターナショナルディスカッション

サンクスギビングが過ぎ、まもなくクリスマスとして新年を迎えようとしています。今回は、サンクスギビングと、私が開催しているフィンドレー大学インターナショナルディスカッション、そしてニッシンブレキオハイオでの実習について、お話いたします。

■サンクスギビング

サンクスギビングはアメリカ人にとって特別な日で、家族全員が集まり、食卓を囲み、ゲームをして、寝るという、なんともぐーたらな時間を過ごす日です。こんな日を365日過ごしたいと思うほど幸せな時間を過ごしました。

アメリカに来てから、毎日自炊をする日々を過ごしており、今までに、餃子、すき焼き、ステーキ、ハンバーグ、オムライス、カレーライス、ビーフストロガノフ、ミルフィーユ鍋、麻婆豆腐、チンジャオロースなどなど沢山の料理を作ってきました。そこで、サンクスギビングではターキー料理に挑戦しました。友人のおばあちゃんから作り方を教わり、まずはウォルマートで冷凍のターキーを買いました。そのターキーを何日間か冷蔵庫に入れ、徐々に解凍させることで、やっと調理に入ることが出来ます。このターキーはなんと内臓が処理されているので、簡単に前処理をすることが出来ます。しかし、ここで驚いたのが、ターキーのお腹の中にはビニールで包装された首と内臓がありました。これは後々、肉汁と合わせて煮ることでグレイビーソースを作るのに必要とのこと。さて、まず初めにすることは、ターキーの中に詰めて一緒に焼くスタッフィングの用意です。今回はハーブで味付けされたパンを使ったスタッフィングを用いました。そのスタッフィングをターキーに詰めるだけ詰めて、専用の袋に入れ、4時間かけてオーブンで焼きます。

澤井君と私では食べきれないので、友人を呼び、みんなでおいしく食べさせていただきました。しかし、家中に匂いがしみつき、寝ている間もターキーの夢を見てうなされました。



出来あがったターキー

■フィンドレー大学インターナショナルディスカッション

現在、フィンドレー大学では英語集中コースしか履修していません。この英語のクラスで気づいたことが、せっかく沢山の国から来ている学生がいるのに、お互いのアイデアをぶつけ合うディスカッションの機会が無いということです。授業では、お互いの文化や歴史を紹介し合ったりしますが、深い話題について話し合うことはあまりありません。

そこで、クラスメイトのサウジアラビア人、韓国人、ベトナム人の三人を誘いフィンドレー大学インターナショナルディスカッショングループを結成しました。このグループは、週に一度、留学生向けに TED (Technology Entertainment Design) を用いた 1 時間半のディスカッションを開催しています。現在、まだ二回しか開催していませんが、留学生にとって英語能力を伸ばす良い機会だと実感しています。

このイベントを通して、沢山の学生が集まれば、それだけ色々な考え方が存在するということを改めて、感じることができました。特に、クラスでは使われないような専門的な語彙が飛び交うので、ディスカッションをするのは極めて難しいですが、参加者の英語能力向上には少なからず役に立っていると思います。

for ALL International Students

Are you satisfied with your English?

Do you want to share your idea with others?

Do you need more difficult topics to discuss?

Do you want more chances to speak English?

We have.....

UF International Discussion

Contents: We will use TED videos and discuss it with other international students.
*TED (Technology, Entertainment, and Design)

Time and Place:
11/28 (Wed) 8 p.m. to 9:30 p.m. at Davis 185

Contact:
Isamu Arase
E-mail: arasei@findlay.edu
Phone: 419-672-0216
Facebook: <http://www.facebook.com/isamu.arase>

Please contact me on Facebook for sign-up

イベントのちらし

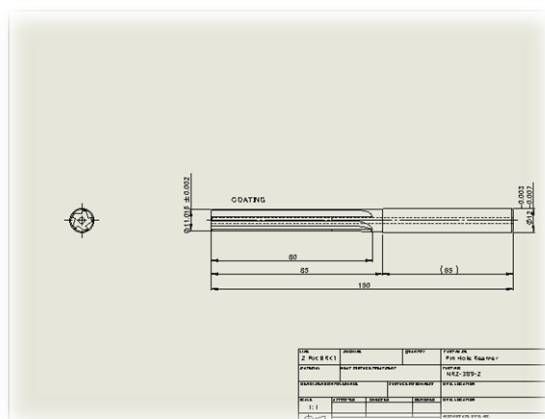


第一回の集合写真

■ニッシンブレーキオハイオ

刃物のデータを収集していく中で、同じ加工寸法で同じ所を加工するにもかかわらず、二つのラインで違う刃物を用いていました。そこで、集められたデータから寿命がより長い刃物を用いることで、コスト削減を目指しました。さらに、ここで寿命が長い方の刃物が四枚刃で短い方が二枚刃であることに着眼し、五枚刃の刃物を使っているデータを確認しました。すると、その寿命は四枚刃のものより三倍も長かったのです。そこで、その刃物を参考にして、新しいデザインの刃物を作り、刃物部門のレックスと上司のジェリーに掛け合い注文をお願いしました。

注文から六週間が経ち、今日手元にその新しい刃物が届きました。早速、明日から機械の調整をして、トライアルを行う予定です。データから、月に千ドルほどコストカットできる予定です。



新しくデザインした刃物